

よっ葉だより

2020年
7月13日号
No.612

地産地消～いのちと健康



くらしを守る～

よっ葉生活協同組合

冷凍品のセットライン

衛生と安全のために常にマスク、手袋をつけています。



ドライ品のセットライン

ラックのボタンをアルコールで消毒しています。



こちらのラインは消毒が済みました。



よっ葉セットセンター
徹底的に感染防止の
うえ、毎週届けるため
に一生懸命です!

いつもよっ葉生協をご利用いただきありがとうございます。
ございます。

新型コロナウイルスの終息が見えない中、仕分けセット部門のコロナウイルス感染予防対策は、自宅での検温から始まります。平熱より体温が高めの時は、大事を取ってお休みしてもらいます。

出勤してからは、まず初めに手のアルコール除菌を行います。セットラックなど複数のパートさんが触れる場所もアルコール除菌を行ってから、通常の仕分け作業がスタートします。

休憩時にも、3密を避けるため、以前は休憩室で全員で取っていた休憩を3つの部屋に分散しています。

十分な手洗い、窓を開け換気もしっかり行っています。マスクに関しては、仕分け作業上パートさん同士の接触があるため、出勤時より着用を義務化し、終日着用しています。

引き続き組合員の皆さんに確実にお届けするために、緊張感をもって日々の業務に取り組んでまいります。

よっ葉サービス 三田 晃一

お昼の休憩は、少人数で間隔をとっています。配送員の事務所も使っています。
仕切り板は背丈よりも高く作っています。

守ろう！ 未来のタネを

種苗法改定は本当に農業の未来に必要ですか？

農家の命ともいえる「種苗」は、私たちの未来を育む財産となります。
私たちの体をつくる「食」と「農」を守るためにできることを、
ともに考えていきましょう。



<日本の種子（たね）を守る会 発行リーフレットより>

種苗法の改定で農家は自家採種できなくなる？最終回

たくさんの方が届きました。国会では継続審議になりました。

よつ葉だよりで3回にわたってお伝えした種苗法改正について、皆さんからご意見が届いています。ありがとうございます。6月17日に国会が閉会し、今回の改正は見送られ、引き続きの審議となりました。いろいろな立場からの意見を知ることで、今の日本や世界の農業をとりまく情勢や、今後めざすべき農業や食のあり方を考えるきっかけになっています。

 種苗法については、賛成と反対の両方の意見を載せてください。テレビの偏向報道のように、片方の意見だけをのせるのはやめてほしいです。農家の方は賛成している人も多いと聞いています。苦労して品種改良をした日本のイチゴやブドウが、韓国や中国でコピーされて安く販売されています。（R・Aさん）

 第三者への譲渡は禁止されていますが、一部の生産者によって無許可の繁殖や譲渡、販売が横行しているのが現実です。知的財産権や法律、契約の勉強をして、育種家と生産者が、お互いに敬意ある関係を築き、将来の業界を考えて仕事をしている、という方はたくさんいます。（中略）今回のことで気づかされたことがあります。それは「実態はなんなのか」ということに意識を向けていかなければならないということです。（略）（A・Sさん）



 ネット上では日本の農作物の品種を守るためには必要な法改正だという意見も目にしました。自分の意見を持つためにも、まずは勉強して現状を良く知りたいたいです。（N・Kさん）

改正の背景は、TPP協定（環太平洋パートナーシップ協定）に基づいた政策のひとつである農業競争力強化支援法（2017年）で、種子、種苗を「戦略物資」と位置付け、民間事業者の活力をうながすことが目的です。種子法の廃止（2018年）に続いて今回の種苗法改正案は、この流れを踏まえたものです。日米間ではFTA（自由貿易協定）の交渉会議が同意され、自由貿易における競争力の強化が急がれています。ここ数年では、ゲノム編集技術が登場し、多国籍企業などによってゲノム編集をつかった種子や種苗の開発が進められています。知的財産権を保護する必要性が高まりを受けた改正だといえるでしょう。

登録品種の自家増殖を一律許諾制にする一方、改正のもうひとつの目的は、品種の育成者権を守ることです。多大なお金と時間を



かけ開発される品種の、不法な増殖や海外流出を防ぐために、権利そのものは法により守られなければなりません。ただ育種を担う農家も、出荷農家、有機栽培に取り組む農家も同じ日本の農業の担い手ですが、育成者の権利を守ることと、自家増殖を一律禁止（許諾制）にすることは諸刃の剣です。この法改正で双方の権利をバランスよく守ることはできない、ですから時間をかけた議論が必要なのではないでしょうか。

 たださえ食糧自給率の低い日本、種苗法改定により自給率に全く影響がないとはいえないのでは？と考えさせられました。大手企業が種を生産する拠点のほとんどは海外。日本の風土に合った種を守ることはとても大切だと思います。私たちの身体をつくってくれる食べ物の事、本来ならば沢山の人が知り、興味を持つべき情報にもかかわらず、メディアではほとんど流れてこない世の中。安心安全な作物を作る農家さんの為にも、地産地消の買い物で投票し、消費者が学ぶ姿勢が大切だと感じました。（N・Kさん）

 先日、山田正彦さんがラジオ出演しているのを聴き、在来種が実質的に守られないと強い危機感を持っていらっしゃるようでした。私の近所も、高齢者の農家が多く、次世代がいなか、いても農業に関心がなさそうです。種苗法の問題と農家の後継者の不足は、密接にかかわっていると感じます。（T・Aさん）

 日本の種子（たね）を守る会に参加しています。先月種苗法改定案の慎重審議を求める請願書を提出し、採択され国会へ提出されることになりました。たった一人の主婦でも立ち上げれば未来を変える事ができるかもしれません。（S・Nさん）

現在のコロナ禍のもとでは、マスク一つをとっても、生存に必要なものを海外に依存することがどんなにもろいことかと思知らされてしまいました。気象変動への備えも迫られるなか、生きる根源の「食」を自国でまかなう重要性は待ったなしでしょう。日本の農業を底支えている家族農家や有機栽培農家が、安心して経営を続けられるようにしなければなりません。

日本の種子（たね）を守る会は、4月9日に八木岡努の会長名で「種苗法改定案に対する見解」を公表しました。八木岡会長はいちご農家で、JA水戸組合長も務めています。見解では、「公的な種苗事業を民間に移すという路線の元に、事実上、多国籍企業にその権利を移そうとしていることに根源的な問題がある」と指摘しています。そのうえで、伝統的在来品種の保全と育成に関する法律の制定の必要性にも触れ、「現在支配的な国際的な巨大多国籍企業の種苗占有に道を開くのではなく、国内農漁業者を守り育成することは、国の将来を保全するビジョンに不可欠です。地球温暖化と気候変動の時代、人口急増する世界にあって地域に根差した農漁業の保全こそ求められています。このための法律制定を求めます」と、新たな法制定への理解を求めています。

種子は誰のものなのか・・・？種子をめぐるさまざまな権利を守り、持続的な農業の営みと食の安全につなげるために、私たちも一緒に考えていきたいと思います。

審議が見送りになったということは、議論の余地が残されているということ。関心を持ち、食の安全を確かなものにする機会にしていきましょう。

（組合員活動常任理事 三輪）

登録品種の自家増殖は(採種)は一律禁止に？

■ 育成者権と農家の権利のバランス



自家増殖原則禁止によって影響を受ける品目

- イチゴ：親株から枝を伸ばして株を増やす栄養繁殖が一般に行われている。
- サトウキビ：栄養繁殖し、挿し木で増殖。
- イモ類：サツマイモ、ジャガイモなど、種イモから自家増殖が一般的。
- 主要農作物（イネ・ムギ・ダイズ）：種苗購入費削減を図るため、自家増殖が広く行われている。
- 果樹類：リンゴ、かんきつ、ナシ、カキ、ブドウ、ウメなど、自家増殖が一般的。

脱プラスチックの取り組み②

7月1日から、レジ袋の有料化がスタート!「袋要りません!」と言うより早く、さっとレジ袋を広げられてしまう心配はなくなり、嬉しいです。

コロナウイルス感染防止には使い捨て推奨??? コロナで人間社会が崩壊する前に、生態系が崩壊しそうです。地球と生命の存続の為に、脱プラは必須です。よつ葉生協でも、「どんぐりくらの原木椎茸」のトレーの廃止、ペットボトル飲料のアルミ製ボトルへの変更など、小さな一歩ですが取り組んできました。脱プラを意識した組合員の皆さんの選択(商品の注文!!)が声となり、力となります。これからも、生産者の方や皆さんと一緒にできることを模索し続けます。

(組合員活動常任理事 堀)

わたしたちは 「こんなコトに取り組んでいます♪」

- ※果物やトマトなど、箱入りを買います。
- ※保存容器なども、ガラス、ホーロー、ステンレスなどに。買うときに「長く使えるかどうか」を考えると脱プラを選ぶことになります。
- ※衣料品も天然素材を。下着や靴下、すぐに伸びて駄目になるものは化学繊維製と気付いた。
- ※柔軟剤、化粧品、農薬にもマイクロプラスチック使用。そういうものを選ばない。
- ※夫の譲れないお楽しみ「焼酎の炭酸割で晩酌」用に、炭酸水製造マシンを購入!!で、ペットボトルゴミの悩み解消。
(宇都宮 鶴蒔)
- ※マイボトル、マイバック。
- ※ラップなどのワンウェイプラスチックは使わないようにし、蜜蝋ラップも活用。
- ※お菓子は個包装のものを避けます。
(宇都宮 小田切)



8月1週
479 稲田さんの人参ジュース



8月1週
485 ミニミックスキャロット



8月1週 490 COはと麦入りブレンド茶 24本入り

脱プラの飲み物、取り扱いを増やしています。

- ※「100円ショップなどで安易に便利そうなプラスチック製品で間に合わない」ことです。(下野 山本)
- ※風呂敷や布袋をカバンの中に2,3枚入れておきます。
- ※納豆など、紙パック入りを選んでいきます。
- ※「便利さが当たり前」と何の疑問も持たず長年過ごしてきたことを反省しています。
(宇都宮 西村)
- ※選択肢があれば瓶入りを選ぶ。
- ※マスクは布製を多数用意しました。
- ※おむつや生理用品、できる範囲で布を使う。おむつのお古を、夜用ナプキンとして愛用中。快適すぎてもう紙(中身にプラも。市販品で使用のポリマーは石油製品)には戻れません。おススメです!!!
(小山 堀)

文化イベント情報

佐野



「新しい家族」

「天然水」

- タイトル 安藤勇寿「少年の日」 「新作原画展」展
- 日時 4月28日(火)~8月30日(日)
- 会場 安藤勇寿「少年の日」美術館
(佐野市御神楽町623-1)
- ※料金、休館日等、詳しくはお問合せください。
- 問合せ TEL 0283-67-1080 FAX 0283-67-7030

ご意見・ご感想をお寄せください。お名前と組合員番号をご記入の上、共同購入注文書またはお手紙でお願いします。掲載の方には粗品をプレゼントいたします。※掲載するにあたって事前ご連絡をすることはありませんので、ご了承ください。

東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告 (7月1週分)

ご協力ありがとうございます。
組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています (単位:円)

放射能から子どもを守る募金 (900番)	10,300
震災孤児を支援する募金 (910番)	32,100
「有機農業と国産種子」募金 (920番)	10,800
合計	53,200

共同購入注文書裏の「10品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。WEB注文の場合は、左側「企画商品」内の「復興支援募金」をクリック。一口100円の募金になります。

●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮1223

☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101

HP <http://yotsubacoop.jp/>

よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yahoo.co.jp

